

令和 4 年 9 月 6 日現在

機関番号：33945

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18K02504

研究課題名(和文)戦後初期における幼稚園・保育所のカリキュラムづくりに関する実証的研究

研究課題名(英文) Empirical Study on Creating Curriculum of Kindergartens and Day Nurseries in the Early Postwar Period

研究代表者

豊田 和子 (TOYODA, KAZUKO)

名古屋柳城女子大学・こども学部・教授

研究者番号：80087915

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：昭和20年度の保育カリキュラムの実際から、その特徴を明かにする目的で、全国の幼稚園・保育所の昭和20年代のカリキュラムの収集と分析を行った。収集した38園・団体の68編のカリキュラムの特徴を、当時の『保育要領』の12項目の影響の有無、『幼稚園教育要領』改訂過程の6領域の影響の有無の仮説から、その特徴を分析した。

収集したデータの分析の結果、国公立の幼稚園では国の基準内容を早く取り入れようとし、私立の園ではその影響は後から受けていることが実証できた。また、戦前からの伝統をもつキリスト教の園では、独自の形式・内容を作成していた。保育の質との関連では、各カリキュラムにも質の高さが反映されていた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

保育の分野では、カリキュラム研究が立ち遅れている。特に戦後の新教育改革の時期に、幼稚園や保育所でどのようなカリキュラムづくりがなされてきたのかを、個々のカリキュラム分析の視点から明らかにしたことは、保育史研究の発展に一石を投じることができる。これまでに研究では、『保育要領』や『幼稚園教育要領』等の国の基準が、保育の現場でもそのまま受け入れられていたかのような解釈が多かったが、実際のカリキュラム検討からは、個々の園の主体的な取組や独創的な力量が反映されていることを実証できた。この研究成果は、これからの保育に求められるカリキュラムマネジメントの考え方の実践発展に示唆を与えることができると考える。

研究成果の概要(英文)：We collected and analyzed the curriculums of kindergartens and nursery schools nationwide in the Showa20's. The characteristics of the 68 curriculums of 38 gardens and groups collected are based on the hypothesis of the influence of 12 items of the "Childcare Guidelines(Hoiku-youryou,1948)" at that time and the influence of 6 areas of the "Kindergarten Education Guidelines(Youchien Kyouiku-youryou,1956)" revision process. analyzed. As a result, it was proved that the public kindergartens/nursery schools tried to adopt the national standards as soon as possible, and the private Kindergartens/Nursery schools were influenced by it later. In the case of curriculums by christian kindergartens, the original format and contents were created.

研究分野：保育学

キーワード：戦後の幼稚園・保育所 昭和20年代の保育カリキュラム 『保育要領』の12項目 「幼稚園教育要領」の6領域 保育カリキュラムづくり

## 研究成果報告書

### 1. 研究開始当初の背景

#### (1) 質の高いカリキュラムづくりの課題から日本の保育の歴史を実証する意義

乳幼児期からの教育の質を保证するための、質の高いカリキュラムづくりが先進諸国の課題となっている。わが国では平成 29 年度の改訂(改正)により、幼稚園教育要領・保育所保育指針等が変わり、新たな時代に入った。すべての子どもに質の高い幼児教育・保育の提供という極めて現代的な課題にこたえていくために、諸外国の動向に学ぶと同時に我が国の幼児教育・保育の実践的な遺産に目を向け、そこから新たな知見を導き出す研究は、今の時代に必要であると考えた。

私たちの研究グループ(豊田・清原・寺部ら)は、これまで科研費助成により日本の戦前戦後の保育の実証的研究を手掛けてきた。2008～2010 年度「福岡県におけるモデル保育所に関する実証的研究」(C:20530743) 2011～2013 年度「福岡県における占領期の保育 保育先進県における戦後保育構築に関する実証的研究」(C:23531075) 2015～2017 年度「戦前戦後の幼児教育・保育に関する実証的研究」(C:15K04334)で、これらの先行研究を踏まえて、戦後初期の保育カリキュラムの研究がまだ十分に明らかにされていないことに着目し、本研究に着手した。

#### (2) 戦後初期の保育カリキュラムづくりの実践的な研究がなされていないという背景

なぜ、昭和 20 年代という戦後初期なのか。この時代は新教育の進展と同時にわが国の保育カリキュラムにとっても大きな転換期である。昭和 23 年に文部省から出された『保育要領 幼児教育の手引き』は幼稚園と保育所を共通に対象としており、保育史上、最初の幼保一体化のカリキュラムとしての意義を持つ。戦後の新しい幼児教育・保育がこれを出発点として模索されてきた事実を見落とすことはできない。これまでの私たちの研究において収集した資料の中には、カリキュラムに関連するものもたくさんあったが、部分的にしか取り上げることができないままになっていた。そこで、本研究では、全国規模での資料収集を行い、戦後の新教育の動向の過程で幼稚園や保育所の現場では、保育カリキュラムがどのようにして作られたのか、その特徴はどういうところにあるのかを一つ一つの史資料の分析を通して実証する必要があると考えた。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、戦後の保育史研究を進める上で対象とすべき保育カリキュラムの実際を明らかにすることである。特に昭和 20 年代に焦点を当てて、全国の幼稚園・保育所の保育カリキュラム関連の資料を発掘収集し、その特徴を分析し、当時の幼稚園や保育所のカリキュラムの実際を歴史の中に位置づけることをめざす。戦前までには、大正 15 年の幼稚園令施行規則によって保育 5 項目が示され、現場ではその影響を受けてカリキュラムづくりをしてきた、また、キリスト教などの伝統ある幼稚園では独自のカリキュラムを構築してきたという歴史がある。また倉橋惣三とお茶の水女子大学附属幼稚園の実践による『系統的保育案』の考え方が、多くの幼稚園でのカリキュラムづくりに影響をもたらした。

戦後の新教育改革により幼稚園は学校教育機関、保育所は児童福祉施設として制度化されるが、幼稚園や保育所が戦後の新しい幼児教育・保育を進めていくにあたり、文部省からは幼稚園・保育所・家庭を共通に対象とした『保育要領』(昭和 23 年)が幼児教育の手引きとして刊行された。その中で「保育内容」は、従来の保育 5 項目に代わって、「楽しい幼児の経験」として 12 項目が掲げられた。幼稚園や保育所の現場では、これを参考にしながらカリキュラムが作成されることになるが、これまでの私達の研究で入手済みの園のカリキュラムを見ると、その枠組みや扱う保育内容に関して、同じ時期でも園によって大きな違いがみられることがわかった。そこで、本研究では、全国規模で現存するカリキュラムをできるだけ多く探し出して、保育現場のカリキュラムが『保育要領』の 12 項目の影響をどの程度受けているのか、戦前の 5 項目の踏襲でカリキュラムが作成されていたのか、それとも、園・団体等の独自の考えで作成されていたのか、どのような考えでカリキュラムづくりがなされていたのであろうかという問題意識から、個々の資料を基に、その形式の特徴や内容の傾向を明らかにしていく作業に取り組むことにした。

さらに、昭和 31 年の『幼稚園教育要領』の保育 6 領域に移り変わっていく昭和 20 年代の後半には、幼稚園や保育所の現場では、それがカリキュラムづくりというレベルでどのような影響を与えてきたのかといったことにも目を向けて、実証していく。考察では、昭和 20 年代の前半期と後半期での違いはどうであったのかも検討していく。

### 3. 研究の方法

研究の方法は、調査による資料収集と仮説に基づく分析、そして資料のデータ化である。研究期間の1・2年目には下記の(1)を中心に組み、2年目の後半期と3・4年目には(2)を中心に組み組んだ。同時進行として、年度ごとに得られた成果を学会等で公表し考察を重ねる。

#### (1) 調査による資料収集

##### 調査対象園(施設)の確定

昭和20年代前半までに存在していた幼稚園と保育所を各都道府県教育委員会等の幼稚園名簿と、国の児童福祉関連統計等を手掛かりに、全国の幼稚園と保育所の名称・所在地等を抽出して調査対象を確定する。約1500か所。

##### 資料の有無に関する調査

確定した園(施設)あてに、「昭和20年代の保育カリキュラムに関する資料の有無」について文書による聞き取りを行い、「有」の回答園に対して、電話で訪問調査の可否を伺い、了解を得た施設を順次、直接訪問して、資料の開示を求め、了解を得て、すべての資料をデジカメ収録あるいはコピー等で複写して持ち帰った。保管場所は研究代表者の研究室とする。

#### (2) 収集した資料(カリキュラム)の分析

作成者群として、A:自治体、B:任意の研究団体、C:その園独自、D:その他として分類し、種類別では、ア:年間指導計画(年案)、B:月間指導計画(月案)、C:週間指導計画(週案)、D:その他、として類型化する。

カリキュラムの内容・項目の分析仮説として、1)戦前の保育5項目に近い、2)昭和23年の12項目に近い、3)昭和31年の6領域に近い、4)その他、とする。

一つ一つの資料を、上記の仮説視点から読み解き、その傾向を分類する。

#### (3) 昭和20年代前半と後半の2期に区分して、有効な資料をデータ化する。

研究倫理上の配慮として、調査協力園(施設)等に対して、研究の目的・方法・成果の公開等の説明を行い、個人情報保護の遵守に努めることを約束して、責任者から了解を得た(文書による)。

### 4. 研究の成果

#### (1) 研究仮説の実証

入手したカリキュラムのすべてを仮説に基づき分析・考察した結果、以下のような成果を得た。

|           |        |           |          |       |
|-----------|--------|-----------|----------|-------|
| (1) 作成者   | A:自治体  | B:任意の研究団体 | C:その園独自  | D:その他 |
| (2) 種類・形式 | ア:年間   | イ:月間(月案)  | ウ:週間(週案) | エ:その他 |
| (3) 内容・項目 | 5項目に近い | 12項目に近い   | 6領域に近い   | その他   |

#### (1) 昭和20年代前半(1945~1949年度)の保育カリキュラム・指導計画の実態

| 年度           | 作成者             | 名称            | タイプ |
|--------------|-----------------|---------------|-----|
| 1945(S.20)年度 | 木屋瀬保育園          | 「保育案」         | Cウ  |
| 1946(S.21)年度 | 徳島県保育部会         | 「保育教材系統案(基準)」 | Bイ  |
|              | 東京女子経済専門学校附属幼稚園 | 「保育案」         | Cイ  |
|              | 津市立新町幼稚園        | 月案            | Aイ  |
|              | 瑞穂幼稚園           | 「保育細目」        | Cウ  |
| 1947(S.22)年度 | 木屋瀬保育園          | 「保育週案」        | Cウ  |
|              | 中央社会館保育部        | 「保育案」         | Cウ  |
|              | 瑞穂幼稚園           | 「保育細目」        | Cウ  |
| 1948(S.23)年度 | 名古屋市保育会         | 「保育予定案」       | Bイ  |
|              | 兵庫師範学校女子部附属幼稚園  | 「明石附属幼稚園プラン」  | Cイ  |
|              | 本荘幼稚園           | 「保育実践記録表」     | Cイ  |
|              | 岐阜市立加納幼稚園       | 「幼稚園週案二年」     | Cウ  |

|              |                       |                            |    |
|--------------|-----------------------|----------------------------|----|
|              | 木屋瀬保育園                | 「保育週案」                     | Cウ |
| 1949(S.24)年度 | 日本基督教団杵築教会附属白百合幼稚園    | 「保育カリキュラム 行事表 綴」           | Cア |
|              | 名古屋市幼児教育会             | 「昭和24年度試案 幼稚園カリキュラム」       | Bイ |
|              | 本荘幼稚園                 | 「保育実践記録表」                  | Cイ |
|              | 吉備幼稚園                 | 「保育計画」                     | Cイ |
|              | 奈良女子大学奈良女子高等師範学校附属幼稚園 | 「昭和二十四年度試案 保育計画 (その基礎)(一)」 | Cイ |
|              | 徳島大学徳島師範学校附属幼稚園       | 「昭和二十四年十月 幼児の生活プラン」        | Cイ |
|              | 慈光保育園                 | 「保育カリキュラム」                 | Cウ |
|              | 木屋瀬保育園                | 「保育週案」                     | Cウ |

(2) 昭和20年代後半(1950~1954年度)の保育カリキュラム・指導計画の実際

| 年度           | 作成者                 | カリキュラム                     | タイプ      |
|--------------|---------------------|----------------------------|----------|
| 1950(S.25)年度 | 広島大学三原分校附属幼稚園       | 「年長組一学期案」                  | Cア       |
|              | 四日市市立四日市幼稚園         | 「四日市幼稚園保育課程案」の一部           | Cア       |
|              | 徳島市幼稚園部会            | 「徳島市幼稚園保育課程(試案)」           | Aイ       |
|              | 名古屋市幼児教育会           | 「幼稚園教育課程」                  | Bイ       |
|              | 名古屋市保育協会カリキュラム研究委員会 | 「保育計画」                     | Bイ       |
|              | 慈友会保育園              | 月案                         | Cイ       |
|              | 御幸保育園               | 月案                         | Cイ       |
|              | 堅磐信誠幼稚園             | 10~3月(週案:園だより)             | Cウ       |
|              | 木屋瀬保育園              | 「保育週案」                     | Cウ       |
|              | 慈光保育園               | 「カリキュラム」                   | Cウ       |
|              | 島原幼稚園               | ・「保育案」<br>・「保育取組指導豫定案」     | Cエ<br>Cエ |
| 1951(S.26)年度 | 四日市市教育研究所           | 「四日市市幼稚園基底保育計画案」           | Aア       |
|              | 上広川幼児園              | ・「運営計画表」<br>・2月の保育計画       | Cア<br>Cイ |
|              | 瑞穂幼稚園               | 「年間保育計画表」                  | Cア       |
|              | 神奈川県保育連合会           | 「保育カリキュラム」                 | Bイ       |
|              | 名古屋市立第一幼稚園          | 「昭和二十六年度試案 幼稚園教育課程」        | Cイ       |
|              | 龍野幼稚園               | 「単元一覧表」                    | Cイ       |
|              | 堅磐信誠幼稚園             | 週案                         | Cウ       |
|              | 島原幼稚園               | 「保育案(梅組、竹組)」               | Cエ       |
|              | 山梨大学学芸学部附属幼稚園       | ・「年少組保育計画表」<br>・「年長組保育計画表」 | Cエ<br>Cエ |
|              | 刈谷市立衣浦幼稚園           | 「幼稚園管理案」                   | Cエ       |
|              | 有緝幼稚園               | 「実演授業案」                    | Cエ       |
| 1952(S.27)年度 | 大津市立逢坂幼稚園           | 月案                         | Cイ       |
|              | 堅磐信誠幼稚園             | ・「保育計画案」<br>・週案(4・5、9~2月)  | Cイ<br>Cウ |

|                |               |   |                |
|----------------|---------------|---|----------------|
|                | 慈光保育園         | ・単元<br>・「保育カリキュラム」                                | Cイ<br>Cウ       |
|                | 自然幼稚園         | 「保育プラン」   | Cイ             |
|                | 慈友会保育園        | 「保育案」   | Cイ             |
|                | 名古屋市第一幼稚園     | 「本園のカリキュラム」                                       | Cイ             |
|                | 御幸保育園         | 月案  | Cイ             |
|                | 刈谷市立衣浦幼稚園     | 「幼稚園管理案」  | Cエ             |
| 1953 (S.28) 年度 | 森町立森幼稚園       | 「年次計画書」   | Aア             |
|                | 慈友会幼稚園        | 「月案 保育案」  | Cイ             |
|                | 自然幼稚園         | 「保育プラン」   | Cイ             |
|                | 名古屋市立幼稚園      | 「幼稚園保育参考案」  | Aウ             |
|                | 堅磐信誠幼稚園       | 週案  | Cウ             |
|                | 木屋瀬保育園        | 「保育週案」  | Cウ             |
|                | 三重大学学芸学部附属幼稚園 | 「教育課程」  | Cウ             |
|                | 南薫幼児園         | ・「今週のカリキュラム」<br>・「保育プログラム」<br>・「第一限保育案」「第二・三限保育案」 | Cウ<br>Cエ<br>Cエ |
|                | 島原幼稚園         | ・「幼児教育指導案」<br>・「保育指導案」                            | Cエ<br>Cエ       |
| 1954 (S.29) 年度 | 森町立森町幼稚園      | 「教育計画」  | Aア             |
|                | 奈良女子大学附属幼稚園   | 『幼児教育の教育計画』                                       | Cア             |
|                | 鳥羽市立鳥羽幼稚園     | 「教育課程」  | Cア             |
|                | 興望館保育園        | 「月のカリキュラム」  | Cイ             |
|                | 自然幼稚園         | 「保育プラン」   | Cイ             |
|                | 慈友会幼稚園        | ・「月案」<br>・週案                                      | Cイ<br>Cウ       |
|                | 木屋瀬保育園        | 「保育週案」  | Cウ             |
|                | 名古屋市立第一幼稚園    | 「保育案 緑組」  | Cウ             |
|                | 龍野幼稚園         | 週案  | Cウ             |
|                | 島原幼稚園         | 日案  | Cエ             |

戦後間もない時期に多くの幼稚園・保育所で、保育者たちの手によって保育の計画が作成されていたこと、その編成力量、立案の質の高さは、実際のカリキュラム分析から実証できた。さらに以下の3典型例は、これまでの保育史研究で明らかにされていない、本研究の成果である。

1) 研究団体による自主的・先進的な取組例として、名古屋市と神奈川県の作成過程を実証できた。公・私立の幼稚園・保育所が共同で研究会を立ち上げカリキュラムづくりに取り組んでいる。

2) 現場の保育者・教育学者・諸科学研究者の「三者による協力・共同」体制の下でのカリキュラムづくりの典型例として、兵庫師範学校女子部附属、奈良女子大学奈良女子高等師範学校附属、徳島大学徳島師範学校附属の3幼稚園の作成過程を実証できた。これらは、師範学校と園の連携のもとに新しいカリキュラムづくりに取り組んでいる。

3) キリスト教の幼稚園の多くは、戦前からのカリキュラムの蓄積を背景に、戦後も国の基準から大きな影響を受けることなく独自のカリキュラムづくりに取り組んでいることが実証できた。

#### (2) 昭和20年代の保育カリキュラムのデータ化による遺産保存

入手したカリキュラムの中から、記述の多いもの・判読しやすいものを選んでエクセルでデータ化し、園・団体ごとに年代順に「研究報告書」に資料編として収録した。全部で38園・団体、計68編で、昭和20年代の保育カリキュラム(年間計画、月間指導計画、週案、日案等)の形式、構成原理、保育内容等の特徴を知りうる歴史的資料として残すことができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>豊田和子・清原みさ子・寺部直子                                 | 4. 巻<br>41            |
| 2. 論文標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(1) - 名古屋市の幼稚園の場合 - | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>名古屋芸術大学研究紀要                                     | 6. 最初と最後の頁<br>141、156 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                     | 国際共著<br>-             |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>豊田和子・清原みさ子・寺部直子・榎原菜々枝                       | 4. 巻<br>創刊号          |
| 2. 論文標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(2) - 神奈川県の場合 - | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>名古屋柳城女子大学研究紀要                               | 6. 最初と最後の頁<br>25, 45 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                 | 国際共著<br>-            |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>豊田和子・清原みさ子・寺部直子・榎原菜々枝                           | 4. 巻<br>第2号          |
| 2. 論文標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(3) - 3師範学校附属幼稚園の場合 | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>名古屋柳城女子大学研究紀要                                   | 6. 最初と最後の頁<br>15, 32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                     | 国際共著<br>-            |

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>豊田和子・清原みさ子・寺部直子                                |
| 2. 発表標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(1) - 名古屋市の幼稚園の場合 - |
| 3. 学会等名<br>日本教育学会第78回大会                                   |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>豊田和子・清原みさ子・寺部直子・榊原菜々枝                      |
| 2. 発表標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(2) - 神奈川県の場合 - |
| 3. 学会等名<br>日本教育学会第79回大会                               |
| 4. 発表年<br>2020年                                       |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>榊原菜々枝・豊田和子・清原みさ子・寺部直子                          |
| 2. 発表標題<br>昭和20年代の保育カリキュラムづくりに関する実証的研究(3) - 3師範学校附属幼稚園の場合 |
| 3. 学会等名<br>日本教育学会第80回大会                                   |
| 4. 発表年<br>2021年   |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>寺部直子・豊田和子・清原みさ子・榊原菜々枝  |
| 2. 発表標題<br>戦後初期のキリスト教の園におけるカリキュラム |
| 3. 学会等名<br>日本保育学会第75回大会           |
| 4. 発表年<br>2022年                   |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                         | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                  | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 研究分担者 | 清原 みさ子<br><br>(KIYOHARA Misako)<br><br>(00090366) | 名古屋柳城女子大学・こども学部・研究員<br><br><br>(33945) |    |

6. 研究組織（つづき）

|                   | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                     | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                          | 備考 |
|-------------------|---|--|----|
| 研究<br>分<br>担<br>者 | 寺部 直子<br><br>(TERABE Naoko)<br><br>(20759592) | 名古屋柳城女子大学・こども学部・研究員<br><br><br><br><br>(33945) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|         |         |